

# 自主ゼミのすゝめ

人文社会科学研究科 D2

## 自主ゼミとは

自主ゼミとは、単位とは関係なく、学生が学習したいことを学習するゼミです。利点としては、大学で開講されていないテーマを学習できる、自分たちのペースで進めることができる、みんなで議論をたっぷりできることです。互いの考え方の違いを食いあって、さらに考え方を深める体験を自分たちで試みることは、学問をするうえで必要なことなのです。

(白井・高橋2008 : p.44)

## 自主ゼミ事始め①－何を学びたいか決めよう！

「何をどう学びたいのか」を明確にする。「何かを学びたい」という漠然とした目標ではなく、参加者が共有できる問題意識をはっきりさせる。

## 自主ゼミ事始め②－まずは3人集めよう！

いきなり大人数を目指すのではなく、まずは共通の問題関心を持つ3人から始める。(三人寄れば文殊の知恵)  
そのためにも一人一人が主体的に取り組む。

## 自主ゼミ事始め③－オープンな雰囲気で！

いつでも誰でも参加できる雰囲気を心掛ける。(来る者拒まず、去る者は追わず！) また、多様な考え方を尊重する。(相手を論破することが目的ではない)

## 自主ゼミ事始め④－役割分担を決めよう！

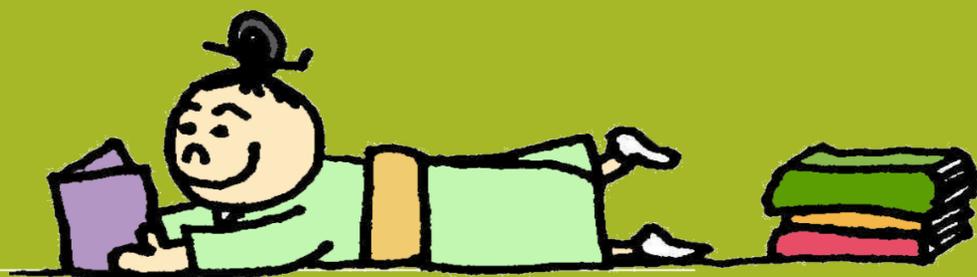
司会・レポーター・まとめ役など役割を決め、司会も順番制で回す。最低でも司会だけは決めて、議論を始める。（「司会の役割」参照↓↓↓）

## 自主ゼミ事始め⑤－目標を決めよう！

最初にある程度の見通しと計画を立てる。読書会であれば、何をどこまで読むかなど。大切なのは無理のない計画を立てること。

## 自主ゼミ事始め⑥－毎回まとめよう！

その日のまとめをする。わかったこと、わからなかったこと、議論の問題点を全員で確認する。特に分からなかったことは、はっきり分からないという。



## 討論の進め方

- ①お互いの顔が見えるように座る。
- ②初対面の人がいれば、簡単な自己紹介をする。
- ③その日の役割(司会など)を決める。
- ④発表内容を理解してから議論に移る(事実確認や用語の確認など)
- ⑤内容の要点を自分の経験や関心、知識と関連づけて発展させる。
- ⑥疑問点や、関心を持った点を出し合う。
- ⑦話合いの内容や議論の仕方を時折振り返りながら、評価する。

## 司会の役割

- ①その日の議事を司る権限がある事を確認する。
- ②全員の意見を引き出す。満遍なく話を振る。
- ③分からないことを引き出す雰囲気を作る。
- ④たえず違う視点から考えるように促す。
- ⑤異質な意見を大切にす。
- ⑥意見の一致点と相違点を整理する。
- ⑦話あっている内容を常に明確にする。
- ⑧その日の目標を提案する。
- ⑨時間配分に気を遣う。

## まとめ

### ● 大事なことは主体的な独学と集団学習のバランス ●

→自分で調べたり、考えてきたことをベースにして、他の人と議論もしくは意見交換する。司会者は参加者全員が主体的になれる配慮を心掛けましょう。(例：分からないといえる雰囲気作りetc)

### ● 目標は明確に! ●

→議論の目標やポイントは明確にして、全員で共有しましょう。また、自主ゼミ自体の目標として、何か発表の場を設定するのも良いでしょう。

### ラーニング・コモンズを使おう!

場所に迷ったら、図書館2階の「ラーニング・コモンズ」がオススメです。オープンな雰囲気と、すぐ近くに本や資料がある環境は、自主ゼミをやるのにうってつけです。



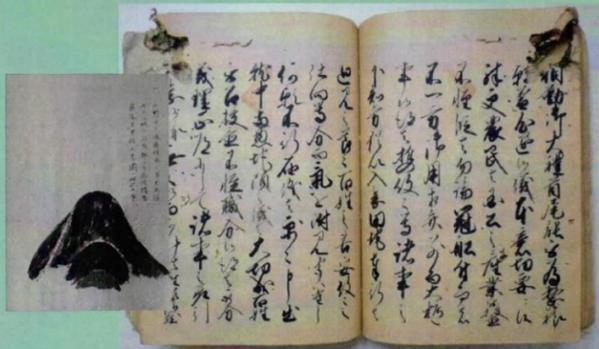
## 参考文献

- ・ 白井利明、高橋一郎 『よくわかる卒論の書き方』 (ミネルヴォ書房、2008年)
- ・ 新井和広、板倉杏介 『グループ学習入門—学びあう場づくりの技法』 (慶応義塾大学出版会、2013年)
- ・ 池内了 「新入生と自主ゼミを続けながら」 (『大学の物理教育』 97(1)、1997年3月)
- ・ 金馬国晴 「学びを通じた「自己実現」—自主ゼミでの議論による学生の内面の変化をたどって」 (『〈教育と社会〉研究』 7、1997年7月)
- ・ 久保美由紀 「自主ゼミのすすめ」 (『奈良教育大学数学研究会誌』 13、1997年6月)



# こんな自主ゼミ(勉強会)やっています！

琉球王国時代の古文書を読んでいます。  
琉球史に興味がある人はビギナーも大歓迎です。  
一緒に琉球の歴史を読み説いていきましょう！



とき : 毎週月曜日 18時15分～20時まで  
ばしよ : 琉球大学 法文棟 614



参加希望の方は、yshiyu9@yahoo.co.jp (比嘉) にご連絡ください。

## 沖縄古文書輪読会

通称: くずし字勉強会

ときどき巡見もやります！

琉球王国時代の古文書をみんなで輪読する勉強会です。古文書に書いてある文字は、いわゆる「崩し字」ですが、専門の院生が基礎から丁寧に解説しながら進めていくので、初心者でも安心です！

時々フィールドワークに出かけて、史料に出てくる場所を見に行ったりもします。

場所 : 法文学部棟 614 教室

時間 : 毎週月曜日 18:15～

※日時変更あります。時間要相談。

ちなみに.....この勉強会での成果の一部は、学会発表や論文になっています↓↓↓

### 【論文】

・山田浩世、新川将太、伊波和輝、照屋肇「(史料紹介)「冠船付御膳進上日記」について」(『琉球アジア社会文化研究』15号、2012年)

・田丸尚美、重野綾奈、竹谷尚子、山田浩世「(史料紹介)「尚泰様御元服付出家衆御呼之時日記」について」(『琉球アジア社会文化研究』16号、2013年)

一部は「琉球大学学術リポジトリ」で公開しています！

→<http://ir.lib.u-ryukyu.ac.jp/handle/123456789/28317>

### 【学会発表】

・田丸尚美、濱地龍磨、比嘉吉志「19世紀における琉球国王家の元服儀礼—尚育・尚泰の比較と烏帽子親の問題を中心に—」(『琉球アジア社会文化研究会』第17回、2014年11月)